



# おもちゃ箱さくら 事業者における放課後等デイサービス自己評価結果

公開日：2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		定期的に配置の見直しをしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	職員の人数に合わせて調節している	もう少し職員を増やす
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		掲示物などで情報伝達を意識している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		活動スペースを広く確保している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別の部屋や場所を使用することが認められている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		PDCA の確認を日頃から行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎年行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日頃から全体でのコミュニケーションを意識的にとっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		委託などをしての評価があると思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	会社全体での研修がある。	もっと機会が増えたらよい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		都度公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者、子供のニーズを最大限優先するよう心掛けている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		ミーティングを定期的に行い、共通理解をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ミーティングを定期的に行い、共通理解をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		ミーティングを定期的に行い、共通理解をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2	ミーティングを定期的に行い、共通理解をしている。	家族支援、地域支援、地域連携は私たちがからの発信がもっと必要である
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	ミーティングを定期的に行い、意見を出し合っている。	偏ってしまうこともあるので、全員が意識することを心掛ける
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2	ミーティングを定期的に行い、意見を出し合っている。	どうしても固定化されるイベントがあるので、マンネリ化しないような小さな工夫が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動と集団活動を組み合わせて支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前に打合せを行い、チームで連携して支援を行っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	支援終了後に、職員間で必ず打合せを行っている。	時間の関係で次に日になってしまうことが多いので覚えておく意識が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の支援に関して記録をとることを徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		4つの基本活動を組み合わせさせて支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自己選択できるよう職員が誘導しすぎないように心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者か児童発達管理責任者のどちらかが必ず参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		街コミや保護者との連絡を取り合っ適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		現在まだ学校の卒業した利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		個人間でのやり取りがある職員はいるが、事業所としての連携はしていないので、児童発達支援センターとの連携を
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		現在交流はしていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	なるべく参加している。	参加できない日もあるので、職員の増員が必要。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時にこどもの状況を保護者に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		現在ペアレント・トレーニング等はしているので、情報共有をし、ペアレント・トレーニングを検討したい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時やモニタリング時に丁寧な説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		こどもや保護者の意思の尊重を心掛けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談や必要な助言と支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		現在、保護者同士で交流する機会を設けていないが、運動会などを計画している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的に情報をこどもや保護者に対して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		現在、地域住民を招待する等地域に開かれた行事はしていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		避難訓練等は定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練等は定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		事前に保護者と連絡を取りてこどもの状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		事前に保護者と連絡を取りてこどもの状況を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画の中で支援が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		家族等へ周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを事業所内で共有し再発防止に向けた方策について検討をしているか。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		計画に記載している。		